



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社TATERU 上場取引所 東
 コード番号 1435 URL https://corp.tateru.co/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)古木 大咲
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員CFO (氏名)高杉 雄介 (TEL)03(6447)0651
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第3四半期 | 17,607 | △65.3 | △7,267 | — | △7,697 | — | △10,463 | — |
| 2018年12月期第3四半期 | 50,814 | 20.1 | 2,551 | △12.6 | 2,403 | △16.2 | 3,212 | 72.4 |

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △10,521百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 3,150百万円 (69.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| 2019年12月期第3四半期 | 円 銭 △117.87 | 円 銭 — |
| 2018年12月期第3四半期 | 38.51 | 35.15 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|---------------|---------------|-----------|
| 2019年12月期第3四半期 | 百万円 17,150 | 百万円 12,387 | % 71.8 |
| 2018年12月期 | 32,445 | 22,881 | 70.1 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 12,306百万円 2018年12月期 22,749百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | — | 5.00 | — | 0.00 | 5.00 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2019年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|--------|---|--------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,492 | △75.4 | △7,916 | — | △8,311 | — | △10,599 | — | △119.40 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| 2019年12月期3Q | 90,167,000株 | 2018年12月期 | 88,767,000株 |
| ② 期末自己株式数 | —株 | 2018年12月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 88,772,128株 | 2018年12月期3Q | 83,422,355株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、前四半期連結累計期間に開示をしておりましたTATERU Apartment事業の受注実績につきましては、開示情報としての重要性が乏しいため、記載を省略しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 10 |
| 3. その他 | 11 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の継続的な金融政策を背景に、雇用・所得環境の改善、また、個人消費の改善及び設備投資の増加継続により、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、長期化する米中間の貿易摩擦の影響による世界経済の不確実性から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、金融機関の融資姿勢の変化による不動産投資に対する融資の厳格化や、開発用地価格及び建築コストの高騰等が懸念されるものの、継続する金融緩和政策による低金利環境や、外国人観光客の増加などによる宿泊施設需要の高まりを背景に、不動産需要は引き続き堅調に推移していくことが期待されます。

このような状況の下、当社グループは、TATERU Apartment事業の再構築とスマートホテル事業やRobot Home事業の確立・拡大に取り組むべく、今後の持続的な成長に向けた構造改革を進め、収益性の改善を図り早期の業績回復を実現するための事業施策に取り組んでおります。この一環として、また、従業員の多様なライフプランを支援するために早期退職優遇制度を実施しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高176億7百万円（前年同期比65.3%減）、販売用不動産の一括売却に係る損失額31億98百万円を売上原価に計上したこと等により、営業損失72億67百万円（前年同期は営業利益25億51百万円）、経常損失76億97百万円（前年同期は経常利益24億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失104億63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益32億12百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメント及び事業セグメントの名称を一歩変更しており、当第3四半期の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(TATERU Apartment事業)

TATERU Apartment事業につきましては、事業資金の確保のための販売用不動産の一括売却に係る引渡し手続きを行ないました。また、2018年12月期に発覚した一連の問題に対する再発防止策として、当社が顧客との間で売買契約等を締結するに際し、当該顧客の売買等の契約適合性を確認する手を厳格化しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は166億65百万円（前年同期比66.0%減）、営業損失は53億76百万円（前年同期38億96百万円の営業利益）となりました。

(スマートホテル事業)

宿泊施設運用サービスの提供を行っているスマートホテル事業におきましては、22棟の宿泊施設及びコンセプトホテル「MUSUBI HOTEL」において、スマートロックやチェックインタブレットなどICT（※）を活用したスマートな宿泊施設運用を実現いたしました。

（※）ICTは「Information and Communication Technology」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションのこと

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4億40百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は23百万円（前年同期比85.4%減）となりました。

(Robot Home事業)

IoT機器の企画・開発を中心としたRobot Home事業においては、IoT機器「Apartment kit」を提供しております。入居者の生活の利便性と安全性の向上及びオーナーや管理会社の賃貸管理業務の効率化を図る「Apartment kit」の機能改修・強化だけでなく、Robot Home事業において初となる建売住宅への導入を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4億54百万円（前年同期比34.1%減）、営業利益14百万円（前年同期比93.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて152億94百万円減少し、171億50百万円となりました。これは主に、現金及び預金が38億77百万円、販売用不動産が66億7百万円、投資有価証券が15億40百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて47億99百万円減少し、47億63百万円となりました。これは主に、買掛金が25億59百万円、短期借入金が18億円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて104億94百万円減少し、123億87百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失104億63百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期連結業績予想につきましては、2019年8月8日付けで公表いたしました「減損損失の計上及び2019年12月期通期連結業績予想に関するお知らせ」にありますとおり、売上高194億92百万円（前連結会計年度比75.4%減）、営業損失79億16百万円（前連結会計年度は営業利益7億21百万円）、経常損失83億11百万円（前連結会計年度は経常利益5億7百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失105億99百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益8億21百万円）を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績予想とは大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,993,824 | 8,116,017 |
| 売掛金 | 841,190 | 639,388 |
| 商品及び製品 | 299,951 | 346,506 |
| 販売用不動産 | 11,105,828 | 4,498,058 |
| 仕掛販売用不動産 | 1,618,758 | 466,443 |
| 貯蔵品 | 10,566 | 4,454 |
| その他 | 458,140 | 472,882 |
| 貸倒引当金 | △15,451 | △41,472 |
| 流動資産合計 | 26,312,808 | 14,502,278 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 993,154 | 1,170,183 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,791,047 | 152,362 |
| その他 | 365,348 | 2,230 |
| 無形固定資産合計 | 2,156,396 | 154,593 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,351,533 | 810,835 |
| その他 | 631,119 | 512,770 |
| 投資その他の資産合計 | 2,982,653 | 1,323,606 |
| 固定資産合計 | 6,132,203 | 2,648,383 |
| 資産合計 | 32,445,011 | 17,150,661 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,824,725 | 265,592 |
| 短期借入金 | 1,800,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 401,154 | 400,720 |
| 未払法人税等 | 568,023 | 34,508 |
| 賞与引当金 | 55,749 | 92,753 |
| 満室保証引当金 | 319,021 | 3,465 |
| 資産除去債務 | — | 29,593 |
| その他 | 2,345,720 | 1,220,494 |
| 流動負債合計 | 8,314,393 | 2,047,127 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,200,860 | 2,600,320 |
| 資産除去債務 | 48,269 | 116,134 |
| 固定負債合計 | 1,249,129 | 2,716,454 |
| 負債合計 | 9,563,522 | 4,763,581 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,272,422 | 7,286,422 |
| 資本剰余金 | 7,178,610 | 7,192,610 |
| 利益剰余金 | 8,296,419 | △2,167,279 |
| 株主資本合計 | 22,747,452 | 12,311,753 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,575 | △5,340 |
| 為替換算調整勘定 | 22 | △363 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,598 | △5,703 |
| 新株予約権 | 1,530 | 1,020 |
| 非支配株主持分 | 130,908 | 80,010 |
| 純資産合計 | 22,881,489 | 12,387,079 |
| 負債純資産合計 | 32,445,011 | 17,150,661 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 50,814,590 | 17,607,953 |
| 売上原価 | 42,049,377 | 20,106,333 |
| 売上総利益又は売上総損失(△) | 8,765,213 | △2,498,379 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,213,518 | 4,768,994 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 2,551,694 | △7,267,373 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,431 | 1,183 |
| 受取配当金 | 26,691 | 751 |
| 投資事業組合運用益 | — | 9,868 |
| 物品売却益 | 3,249 | — |
| 保険解約益 | 13,945 | — |
| 受取保険料 | — | 10,000 |
| その他 | 4,284 | 4,727 |
| 営業外収益合計 | 49,602 | 26,530 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,658 | 23,580 |
| 投資事業組合運用損 | 2,876 | 1,059 |
| 支払手数料 | 10,156 | 163,973 |
| 株式交付費 | 62,568 | — |
| 持分法による投資損失 | 102,702 | 219,915 |
| その他 | 9,839 | 47,798 |
| 営業外費用合計 | 197,801 | 456,328 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 2,403,495 | △7,697,172 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 2,425,815 | — |
| 新株予約権戻入益 | — | 510 |
| 関係会社株式売却益 | — | 60,511 |
| 特別利益合計 | 2,425,815 | 61,021 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 65,814 |
| 減損損失 | — | 886,176 |
| 特別退職金 | — | 281,000 |
| 特別調査費用等 | 33,741 | — |
| のれん償却額 | — | 1,540,991 |
| 特別損失合計 | 33,741 | 2,773,983 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 4,795,569 | △10,410,133 |
| 法人税等 | 1,579,754 | 104,463 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 3,215,815 | △10,514,597 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 3,449 | △50,898 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 3,212,366 | △10,463,698 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 3,215,815 | △10,514,597 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △64,949 | △6,916 |
| 為替換算調整勘定 | △6 | △385 |
| その他の包括利益合計 | △64,956 | △7,302 |
| 四半期包括利益 | 3,150,859 | △10,521,899 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,147,410 | △10,471,000 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3,449 | △50,898 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|---------------------------|---------------------------|-------------------|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | TATERU Apartment事 業 | スマート ホテル 事業 | Robot Home 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 49,067,337 | 438,632 | 675,762 | 50,181,733 | 632,857 | 50,814,590 | — | 50,814,590 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 13,235 | — | 12,941 | 26,176 | 97,147 | 123,324 | △123,324 | — |
| 計 | 49,080,573 | 438,632 | 688,703 | 50,207,909 | 730,005 | 50,937,915 | △123,324 | 50,814,590 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 3,896,531 | 159,649 | 233,904 | 4,290,085 | 203,999 | 4,494,085 | △1,942,390 | 2,551,694 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|---------------------------|---------------------------|-------------------|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | TATERU Apartment 事業 | スマート ホテル 事業 | Robot Home 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 16,661,539 | 440,596 | 453,031 | 17,555,167 | 52,786 | 17,607,953 | — | 17,607,953 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 4,290 | — | 1,000 | 5,290 | 66,956 | 72,246 | △72,246 | — |
| 計 | 16,665,830 | 440,596 | 454,031 | 17,560,458 | 119,742 | 17,680,200 | △72,246 | 17,607,953 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △5,376,149 | 23,286 | 14,565 | △5,338,297 | △119,773 | △5,458,070 | △1,809,303 | △7,267,373 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、従来「TATERU bnb事業」としていたセグメント名称を「スマートホテル事業」に変更しております。また、「TATERU Funding事業」の重要性が低下したため、その他に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「TATERU Apartment事業」、「スマートホテル事業」、「Robot Home事業」、「その他」、「全社」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

| | |
|--------------------|-----------|
| TATERU Apartment事業 | 209,151千円 |
| スマートホテル事業 | 79,531千円 |
| Robot Home事業 | 210,079千円 |
| その他 | 75,016千円 |
| 全社 | 312,396千円 |
| 合計 | 886,176千円 |

(のれんの金額の重要な変動)

「TATERU Apartment事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社インベストオンライン株式に係るのれんの償却を行い、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては1,540,991千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

連結子会社の異動 (株式譲渡)

当社は、2019年10月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社インベストオンライン（以下、「インベストオンライン」という。）の当社が保有する全株式を譲渡することを決議し、2019年11月1日に株式譲渡を完了いたしました。本株式譲渡に伴い、2019年12月期第3四半期連結会計期間において、インベストオンライン株式に係るのれんの償却を行い、15億40百万円を特別損失に計上しております。

1. 株式譲渡の理由

当社グループが属する不動産業界は、金融機関の融資姿勢の変化により、不動産投資に対する融資の厳格化の動きが見られ、経営環境の急激な変化が生じております。このような環境が大きく変化する中で、当社グループにおける事業の選択と集中の観点から、また、インベストオンラインの今後の発展について検討した結果、株式譲渡を行うことといたしました。

2. 譲渡する相手先の名称

株式会社アエリア投資式号

3. 株式譲渡の時期

株式譲渡契約締結日 2019年10月31日

株式譲渡実行日 2019年11月1日

4. 譲渡した子会社の名称及び事業内容

名称 株式会社インベストオンライン

事業内容 不動産投資コンサルティング・マッチング事業 (TATERU Apartment事業)

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額及び譲渡後の持分比率

| | |
|---------------|------------|
| (1) 譲渡前の所有株式数 | 1,346,040株 |
| (2) 譲渡株式数 | 1,346,040株 |
| (3) 譲渡価額 | 600百万円 |
| (4) 譲渡後の持分比率 | —% |

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期連結累計期間における当社グループの主力事業でありますTATERU Apartment事業においては、2018年12月期に発覚した当社従業員による不適切行為に関する対応を重視し、再発防止策として、当社が顧客との間で売買契約等を締結するに際し、当該顧客の売買等の契約適合性を確認する手続を厳格化しております。また、販売用不動産の一括売却に係る損失額31億98百万円を計上したこと等により、当第3四半期連結累計期間に売上総損失、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しております。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しておりますが、当第3四半期連結会計期間末の資金残高の状況及び今後の資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、TATERU Apartment事業の再構築とRobot Home事業やスマートホテル事業の確立・拡大に取り組むことで、継続企業として安定的な収益の確保を図ってまいります。